



▲湯の島の湯けむり



▲収穫直後のマンゴー



▲ブドウの摘果



▲収穫間近のレモン

地域おこし協力隊で、地場産品（果樹）栽培普及支援員として活動してきました横山大理です。

2021年から4年間の任期を終え、3月31日をもって卒業しました。2021年11月に着任した時の広報での着任紹介が、「私にとっては家から歩いて温泉に行けるのがどれだけ幸せか」という内容でした。それは、今も全く変わりありませんし、欠かすことのできない健康的な日課になっています。最初はコロナ禍最中だったので静かな温泉という印象でした。しかし、昨年あたりからは外国の方が増えて、日本の反対側のブラジルの方までいて、片言で陽気に一生懸命話してくるのが印象的でした。任務である果樹栽培普及支援は、温泉熱源のマンゴーのハウス栽培、一部ブドウ栽培も支援できたことで、技術の幅も広がったと思います。温泉熱源のエネルギーやブドウの野生で強い生命力には圧倒されました。

そして、いい意味で予想外だったのは、協力隊や町内外の方々と、個人として何かしらコミュニケーションを通じて関わる機会があったことです。これまで社会とのつながりはほぼビジネスを通じてのものばかりだったので、そこから大きく広がりを感じました。もちろん心地よいことだらけだったわけではなく苦労話をしたら尽きないのが人ということ、こころへんて言葉を加えず筆を置きます（笑）。退任後は在住予定ですので、今後もよろしくよろしくお願いいたします。

地域おこし協力隊で、アクティビティ開発支援員として活動してきました生永パスカルです。

2020年から5年間の任期を終えて3月31日をもって卒業しました。私はこの美しい弟子屈町を故郷と呼べることを心から幸せに思っています。2016年にドイツから日本へ移住し、4年間東京で生活。その後、弟子屈町に移り住むことを決意し、5年間にわたり地域おこし協力隊の一員として活動しました。最初は多くのことが私にとって未知の世界で、外国人としてこの地で生活を始めるのは簡単ではなく、自分のアイデアを人々に理解してもらうのも難しかった。しかし、町民の皆さんの温かさや親切さ、そして寛容な心や支えがあり、自分の夢を実現する第一歩を踏み出すことができました。

私はこの5年間で土地を所有し、2棟の手作りの自然派ストローベイルハウスを建設。これらは単なるプロジェクトではなく、私の情熱と想いが詰まった作品です。そして、弟子屈町をより魅力的な場所にするため、訪れる人々が別世界に迷い込んだような特別な体験ができる場所になればと思っています。

また、毎年開催しているLARPイベントも回を重ねるごとに規模が大きくなり、参加者や支援者の皆さんの熱意と応援にとても感謝しています。このイベントは、単なる遊びではなく、人と人とのつながる場であり、私の夢である「村づくり」への大きな一歩です。さらに、私はさまざまなプロジェクトや活動にも関わることができました。地域文化の振興や地元企業の支援、そ



▲完成したハウスの内部



▲ストローベイルハウスの基礎工事



▲屋根工事はとても大変でした



▲LARPイベントの様子



▲初めてショベルカーに乗りました

して町の皆さんと協力したことは、私にとってかけがえのない経験です。私はこれからも弟子屈町をより輝かせたいと思っています。ここに広がる自然は、心を癒し、人々に特別な瞬間を与える宝物です。この素晴らしい資源を生かし、弟子屈町を北海道内外から注目される場所にしていきたいです。町民の皆さんが温かく迎え入れてくれたことに、心から感謝しています。私はこの町で出会った多くの人々から、たくさんのことを学びました。この貴重な知識と経験を生かし、これからも弟子屈町の未来のために尽力していきます。これからも皆さんと共に、弟子屈町の輝かしい未来を築いていけることを楽しみにしています。

地域おこし協力隊で、観光プロモーション・マーケティング活動支援員として活動してきました井出千穂です。2021年から4年間の任期を終えて3月31日をもって卒業しました。

「なぜ弟子屈町を選んだのですか？」協力隊着任後、何度尋ねられたことでしょうか。「豊かな自然」と答えていたけれど、北海道は大自然の宝庫。弟子屈町に惹かれたのは、どうしてだろう？



地域おこし協力隊で、観光プロモーション・マーケティング活動支援員として活動してきました井出千穂です。2021年から4年間の任期を終えて3月31日をもって卒業しました。



▲雲海とウエディング ▲公用の硫黄山とウエディング

2021年から4年間の任期を終えて3月31日をもって卒業しました。弟子屈町公式チャンネルの取材や撮影、編集、公開した動画は429本。3日に1本のペースで作成してきました。たくさんの方に取材のご協力をいただいたおかげで、これだけの映像を残すことができました。「話すのが苦手です」と戸惑いながらも、カメラの前で立つてくれた皆さん、協力いただきありがとうございました！私は、元々鉄道会社の技術職でした。全く違う世界から飛び込んだこの仕事。もっと直接、人と関わる仕事がしたい！と思うて小中学校の友人である川上さんと協力隊を始めました。最初は取材の仕方もわからず、インタビューで想いを上手く引き出せず、悔しいこ

地域おこし協力隊で、シティブロモーション支援員として活動してきました高橋志学です。2021年から4年間の任期を終えて3月31日をもって卒業しました。弟子屈町公式チャンネルの取材や撮影、編集、公開した動画は429本。3日に1本のペースで作成してきました。たくさんの方に取材のご協力をいただいたおかげで、これだけの映像を残すことができました。「話すのが苦手です」と戸惑いながらも、カメラの前で立つてくれた皆さん、協力いただきありがとうございました！私は、元々鉄道会社の技術職でした。全く違う世界から飛び込んだこの仕事。もっと直接、人と関わる仕事がしたい！と思うて小中学校の友人である川上さんと協力隊を始めました。最初は取材の仕方もわからず、インタビューで想いを上手く引き出せず、悔しいこ

ヒントをくれたのは、1年目、『川湯温泉ブランド化事業』の中で、出会った東京農業大学の上原巖先生でした。町内の森を視察していた時、青空を背景に美しい弧を描く木々の樹冠を指して、「自然の中の相似形ですね」と教えてくれました。木々が自ずと創り出すシルエット、調和がとれた美しさが心地いいこと。そして、国立公園として長年守られてきた森には、そんなハーモニーがあふれているのです。

観光プロモーション活動支援員という仕事柄、アウトドアガイドの方々と

ともたくさんありました。それでも「取材してもらえてよかった」「ありがとう」と言ってもらえるたびにもっと良い映像を届けたいと思い、これまで続けることができました。

この4年間で、町外の方々と案内する「弟子屈町って、こんなにいい町なんだね」と驚かれました。最初は何もわからなかった私ですが、町のことをたくさん自慢できるようにになりました。これからの弟子屈町増やしていきたいと思っています！

地域おこし協力隊の活動は、3月をもって卒業となります。ですが、弟子屈での暮らしを続けていきます。映像、写真の仕事をしながら、新しいことにも挑戦していきたいと思います。今後ともみなさんよろしく願います！

ありがとうございます！



▲仲間と一緒にイベントに参加



▲みんなで食事会



▲『のんちゃん歩く50kmの旅』(2023年2月発行)



▲『モクシヨ』で、町のアカエゾマツをテーマに展示(2024年11月7日～12月3日)。



▲中学生『作成した動画『森の中へ』



▲『北海道の針葉樹』をテーマにしたショップでは、毎週末、アカエゾマツの枝葉を蒸留して来館者に香りを楽しんでもらった。



▲『WOODコレクション』に、2023年、2024年と2年連続で参加。

話す機会にも恵まれ、植物の特性や季節ごとの醍醐味を、次々とインプットすることができました。森への関心は高まり、「摩周湖、屈斜路湖、硫黄山だけでなく、それらをつなぐ『弟子屈の森』もPRできないだろうか？」そんな思いが募ります。

学校の授業に参加して生徒の瑞々しい感性に触れたことも、大きな刺激になりました。小学生が摩周・屈斜路トレイルを歩いた体験をMAPにした『のんちゃん歩く50kmの旅』や、中学生が持続可能な観光について語る動画『森の中へ』などを作成しました。

「アカエゾマツは、いい香りがする！」新たな気づきを与えてくれたのは、町内にアカエゾマツの蒸留所を構える一般社団法人パイングレース。廃棄されるアカエゾマツの枝葉を活用し、精油や蒸留水に。ストレス低減、抗菌、抗炎症、防虫などの研究をしています。

2年目からの勤務地である川湯ビジ

ターセンターでは、『アカエゾマツの森』とともに枝葉の香りを紹介。北海道の針葉樹をテーマにしたコンセプトショップを運営し、蒸留実演にも力を入れました。

3、4年目は、町外進出！東京の『WOODコレクション』『モクシヨ』や札幌の『HOKKAIDO WOOD展』に出店して、都会で暮らす人々にアカエゾマツを紹介しました。弟子屈の心地よさ、少しは届いたでしょうか？

「森に入ると、心が穏やかになるのはなぜだろう？」今後も森の散策やワークショップを通じて探っていきたいと思っています。今年9月には川湯で、『アカエゾマツ・サミット』の開催も予定しています。

4年間、「学び」と「気づき」の連続でした。ご支援いただいたこと、心より感謝申し上げます。これからもご指導のほど、よろしくお願いいたします。



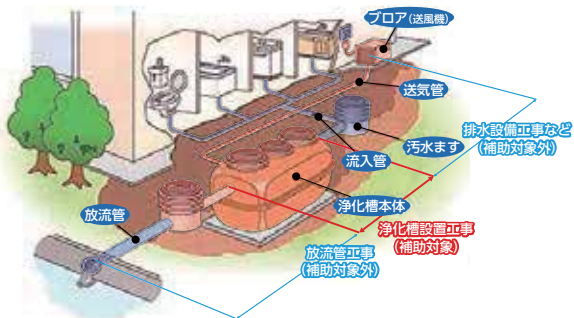
合併処理浄化槽設置整備事業

合併処理浄化槽設置のための補助を行っています

町では、本年度も浄化槽設置費用の一部について、補助金を交付します。

【補助の対象・内容】

- 町が定めた弟子屈町公共下水道事業計画区域を除く地域であること。
- 自らが居住または居住しようとしている建物で処理対象人員が50人槽以下の浄化槽であること。
- 町内に住所を有していて、町税などを滞納していないこと。
- 浄化槽工事業の登録または届出をしている町内の排水設備指定店が施工するもの。 ※別表1 参照
- 補助の対象となる費用は、浄化槽本体に係る工事費用のみですが、トイレ・屋内の排水設備費用などについては、住宅建設促進事業の対象となり併用する事が出来ますので、詳しくは担当課(役場建設課☎4 8 2-2 9 4 1【課直通】)までご相談ください。



別表1【指定工事店】

店名	住所(弟子屈町)	電話番号
(株)熊谷工務店	高栄4丁目4番28号	015-482-1941
鋼管建設工業(株)	美里4丁目1番20号	015-482-4217
(株)近藤建設	鈴蘭2丁目1番11号	015-482-1060
大栄電業(株)	泉4丁目10番3号	015-482-2677
(有)服部水道工務店	摩周1丁目2番1号	015-482-1066
(株)協和建設	高栄1丁目2番2号	015-482-2369

別表2【補助上限額】

人槽区分	補助上限額
5人槽	900,000円
7人槽	1,150,000円
10人槽以上50人槽以下	1,530,000円

※単独浄化槽から合併浄化槽へ転換する場合は、単独浄化槽の撤去費用に対して、12万円を上限額とし、上記の補助上限額に加算します。

申請  
手続き

- ▶受付期間／4月1日(火)～10月31日(金)まで
- ▶受付場所／役場水道課業務係
- ▶申請方法／補助金の交付申請については、「弟子屈町合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付規則」に基づく各書類提出が必要です。

補助金の交付決定を受ける前に工事を開始すると、補助金は交付されません。工事を行う前に、必ず役場水道課にお問い合わせください。詳しい提出書類などをご説明します。

※本年度の補助金は予算の範囲内で交付しますので、年度途中で終了する場合があります。

申し込み・問い合わせ先／役場水道課業務係☎4 8 2-2 9 4 2(課直通)

令和7年3月31日発令 人事異動

■【退職 令和7年3月31日】

- ▶廣田勝彦(福祉課専門主査) ▶秋山一夫(総務課付き専門主査《一般社団法人摩周湖観光協会派遣》)
- ▶正井香(老人ホーム倅和園業務係) ▶山口修栄(摩周観光文化センター副館長)
- ▶宮下和之(川湯支所次長) ▶小見山早織(農林課農政係) ▶佐々木淑吏(観光商工課観光振興係)
- ▶阿部優輝(まちづくり政策課財政係) ▶村田直樹(建設課施設整備係)

■【北海道教育委員会に帰任】

【教育委員会】▶武田進一(指導室長)



▲札幌にて開催した町独自の物産展を実施(2024年7月)



▲各地で開催されたフェアに出品



▲くしろ「お酒と食をつなぐ会」チーズの試食を提供(2025年3月)

地域おこし協力隊で中心市街地活性化等支援員として活動してきました。た森井幹也です。企業研修型という形で、株式会社テシカガタウンラボにて1年間活動してまいりました。移住した当初は、北海道での生活もありました。しかし、温かく迎え入れてくれた町民の皆さまや、共に活動した関係者の皆さまのおかげで、多くの貴重な経験を積むことができました。特に特産品の販路拡大に関しては目立たない活動ではありませんが、弟子屈町の特産品をより多くの方々に広めることを目的に、地道に取り組むことができました。

地域の皆さまをはじめ、多くの方々の協力があったからこそ、釧路やオホーツク、札幌、さらには東京や九州まで届けることができたと感じています。活動を振り返ると、試行錯誤の日々もありましたが、地域の皆さまとの交流が大きな支えとなり、私にとってかけがえのない財産となりました。これからも皆さまとのご縁を大切に、関係人口という形で地域に貢献できればと思っております。最後になりますが、これまでのご支援とご協力に心より感謝申し上げます。皆さまのご健康と弟子屈町のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。本当にありがとうございました。

毎月第3木曜or金曜 18:00～20:30 定期開催

2025年度も継続開催！井戸端交流会

てしかがコミュニTea

てしかがコミュニTeaとは、“みんながゆる～く繋がる出会いの場”です  
夕食持ち込みok 飲み物持ち込みok  
自分という存在の持ち込み大歓迎！  
年齢不問 出入り自由 申し込み・参加費不要  
語ってよし 聴くに徹してもよし 居るだけでもよし  
マイカップ持参  
ごみは持ち帰りましょう

会場  
テシカガタウンラボ  
(中央1丁目5-19、  
旧松本自転車商会)  
※駐車は近隣公共駐車場  
へお願いします

お問い合わせ  
teshikaga.ijusodan@gmail.com  
担当：ひきだし部 小島

2025年度の開催予定  
第3木曜日開催  
(6/19、7/17、8/21、  
9/18、10/16、11/20)

第3金曜日開催  
(4/18、5/16、12/19、  
2026/1/16、2/20、3/20)